

王滝森林鉄道保存事業

取り組みに至る背景・事業の目的

木曽谷は江戸時代から林業で栄えた地域であり、森林鉄道は北の旧楯川村から南は南木曽町まで軌道が連なり、大正から昭和まで半世紀以上にわたりその役目を果たしてきた。今ではトラック輸送となったが、木曽の林業の歩みは、廃線となった森林鉄道にその形跡を残しており、それを再現することにより木曽の歴史に対する認識を深め、地域の今後の発展につなげていく。

事業内容

- 昭和50年に廃線となった木曽森林鉄道を修復し、当時の姿を再現することにより、後世に木曽谷の林業の歴史を伝承するとともに、地域振興に活用する。
- 地元住民及び愛好家の手による軌道の敷設及び保存車輛の修復整備
(平成19年度軌道敷設=100m)
- 森林鉄道フェスティバルの開催による住民及び観光客への森林鉄道の開放



事業効果

実行委員会として本格的な活動を始め、3年目となり、軌道敷設の総延長は415mとなった。森林鉄道フェスティバルや廃線跡ウォーキングを通じて愛好者も増えてきており、観光面での相乗効果も出始めている。また、地域の歴史の教材として小学校の総合学習に活用されるなど、今後も地域振興への活用が期待される。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 車両復元等の難しい作業については、愛好家及び元森林鉄道職員の全面的な協力を受けながら進めている。一方、技術関係者の後継者や復元した施設の維持管理などの課題もある。
- 森林鉄道フェスティバルや募金活動を通じて、愛好者も増えてきており、観光面での相乗効果も現れ始めている。今後も継続して復元保存を続け、地域振興に結び付けていく。

【選定のポイント】

森林鉄道の復元・保存に関して地元住民のみでなく、全国の愛好家にも協力を得て協働の輪を広げているのは地域振興としてモデル性が高い。

団体名	森林鉄道フェスティバル実行委員会 (王滝村)	事業タイプ	ハード事業
連絡先	事務局(王滝村教育委員会内)	事業費	1,093,622円
電話	0264-48-2134	支援金額	729,000円